

(参考様式3)

会 議 録

会議の名称	第20期第1回東村山市立公民館運営審議会			
開催日時	平成30年11月5日 午後6:00～午後7:00			
開催場所	中央公民館 第3集会室			
出席者 及び欠席者	●出席者： (委員) 村上会長、佐藤副会長、岩松委員、栗原委員、角町委員、永吉委員、渡邊委員  (市事務局) 野崎教育部長、田中教育部次長、服部館長、鈴木館長補佐、町田萩山地区館長、當間秋津地区館長、川嶋富士見地区館長、小山廻田地区館長、西出事業係長、澤本主事  ●欠席者：下澤委員			
傍聴の可否	可	傍聴不可の場合はその理由	傍聴者数	0
会議次第	1. 委嘱状交付 2. あいさつ 3. 委員紹介、あいさつ 4. 職員紹介 5. 会長、副会長の選出 6. 会長あいさつ 7. 審議事項 (1) 検討課題について 8. 報告事項 (1) 平成30年度事業報告 9. その他 (1) 次回日程			
問い合わせ先	教育部公民館 担当者名 澤本 電話番号 042-395-7511 ファクス番号 042-395-7515			
会 議 経 過				
1. 委嘱状交付				

- ・第20期第1回の審議会開催にあたり、会長選出までの間公民館長が司会進行を務める。
- ・教育部長より各委員へ委嘱状の交付

## 2. あいさつ

- ・教育部長よりあいさつ

## 3. 委員紹介、あいさつ

- ・公民館長より各委員の紹介
- ・各委員よりあいさつ

## 4. 職員紹介

- ・公民館長より公民館職員の紹介

## 5. 会長、副会長の選出

- ・全委員一致により村上委員が会長に就任。副会長は、佐藤委員が就任。

## 6. 会長あいさつ

- ・会長よりあいさつ
- ・司会進行が会長へ移行

## 7. 審議事項

### (1) 検討課題について

#### 【会長】

それでは、会の進行をさせていただきます。

では、審議事項について、お願いします。

#### 【館長補佐】

20期が始まるということで、19期のまとめを配布させていただいております。

昭和55年に中央公民館が開館し、38年が経つということで、その経過の中で4つの地区公民館があり、全体で1,200団体の登録があり、活動をされており、51万人の利用者があるという大きな公民館となりました。

38年経過する中で、施設の老朽化や事業内容と市民ニーズとの一致しきっていないという声などを利用者からいただいております。

19期の中で「公民館を良くするために」というテーマの基に審議をしていただき、「中高生の居場所づくり」や「利用の緩和」等を図らせていただきました。また、事業や自主公演についても進んでいるところでございます。

20期の中での審議課題でございますが、これまでの審議事項を整理していく必要があると思っております。「公民館のあり方検討」というものは大きな課題だと感じております。また、「主催事業の内容及びあり方」も検討していただきたいと考えております。そして、「利用者の利便性の向上」もあるかと思っております。これら3点をご審議していた

だければと思います。

次回の審議会から整理しながら進めさせていただきたいと思います。

利用者の方から、特定の部屋の利用が集中しており「部屋が取れない」というご意見もいただいておりますので、実態のご説明をしながらご審議を進めていただければと思っております。

【会長】

ありがとうございました。何かご質問等はございますか。

【委員】

東村山市の公民館は、素晴らしいと感じます。公民館を使わない手はない、本当の意味でもっとよく、市民に喜ばれる使い方があるのではと思います。

【委員】

中央公民館の展示室は、他市と比較しても強みであると感じます。

【委員】

館長補佐より検討課題があったかと思いますが、委員として課題を提示する必要があるということでしょうか。

【会長】

おっしゃるとおりです。

【委員】

使いやすい公民館である印象があります。よりよくしていければと考えております。

【委員】

貴重な話し合いがおこなわれてきたのだなと感じます。

【委員】

そもそも私の中で公民館のあるべき姿が明確になってないと感じています。

施設の有効利用ということで、利用者の拡大もあるかと思いますが、増減に一喜一憂するのではなく、1か月の目標値を出すというののもいいのかなと思います。

他市や人口比に対して利用者が多いのかどうか、また、事業に対しても具体的な目標値があっているかと思います。

【委員】

東村山市の中学校では、部活動の在り方も検討しております。

子ども達に余裕を持たせる部活動にしていこうということでガイドラインを設定したのですが、そういった中高生の受け皿が必要になってくるかと思っております。

中高生が公民館で企画する等自主的にかかわって地域に貢献できる仕組み、取り組みがあってもいいかと思っております。

【会長】

以前の審議会のように、答申してみたいとも考えておりますがいかがでしょうか。

## 【館長】

あり方検討とありましたが、生涯学習センターと公民館のメリット、デメリットを考えるとところから始めたいと考えております。

公民館のあるべき姿についてご議論いただければと考えております。

## 8. 報告事項

### (1) 平成30年度事業報告

#### 【事業係長】

平成30年度中期の事業報告をお手元の資料に沿って報告させていただきます。

各講座等の開催日、対象者、定員、応募数、受講数等につきましては資料に記載させていただきました。

市民講座「人生100年時代をどう健康に過ごすか」を長寿命社会となってきた現在、健康に生活の質を高めることを目的とし中央公民館で開催をいたしました。

なお、49名のご応募がございましたが、1・2回目において楽器を使用するため、数に限りがあることから定員を35名といたしました。

各講師には、受講者の平均年齢を伝え、高齢者向けの内容で講義が進められました。各回のテーマは1・2回目「歌いながら脳トレ～生活の質を高める音楽の活用～」3回目は「なりたい自分になるために～健康長寿を支える食生活とは～」4回目は「心と体もいきいき元気！～今日から始める快眠セルフケア～」となり3名の講師にお願いいたしました。

アンケートでは、1・2回目「音楽療法士の先生の授業は、初めてで、どんな事をすることになるのかと楽しみでした。」「触れたことのない楽器で音を出せるのは、自己解放の一つです。受身にお話を伺うばかりでなく、参加、経験出来る講座は良かった。また、脳トレ兼楽しい講座を再開してください。」「3回目「具体的で親しみやすく良かったです。長生きするための具体的事例を教えられたように思えます。」「命に直結の食のお話、今後の健康管理の上にも参考になりました。」「4回目「大変わかりやすい流れの講座でした。睡眠は脳の活性を意味するのに必要なことが十分に理解いたしました。」「脳のことなど詳しいことを知ることができて良かった。アルツハイマーにはなりたくないで、今日の注意事項を守りたいと思います。」等、大変好評でした。

また、4回目はケーブルテレビJ：COM「デイリーニュース」の撮影が入り、9月28日放送されました。

続きまして、市民講座「はじめてのステンドグラス」を富士見公民館で開催をいたしました。平均年齢は57.8歳でした。男性2名 女性30名、受講者負担は材料費の1,500円となります。

水曜、土曜の2コースで募集をおこない、各コース2回で1つのクリスマスモチーフとしたクリスマスリースの制作をおこないました。

受講者、講師の希望もあり各コースとも時間を延長し、全員が完成させることが出来ました。アンケートでは、「楽しかった、またやりたい」との意見が多く、地区館の利用団体、利用者を増やすことを念頭にアンケート内に「サークル立上げについて」項目を追加したところ「興味がある、サークル活動を希望する」との声が多かったことから、講師と相談し11月21日（水）にサークル立ち上げについての説明会を開催いたします。

続きまして、市民講座「はじめての太極拳」を廻田公民館で開催をいたしました。

平均年齢は 64.9 歳でした。男性 7 名 女性 16 名の参加となりました。

講師は廻田公民館で活動されているサークルの方にお願ひしました。

1 回目は「八段錦（はちだんにしき）で身体を健康に保つ八つの動作で深い呼吸」と題しまして、中国に受け継がれてきた気功「八段錦」について学びました。

2 回目は「スワイショウで筋肉を鍛え血流の改善」をおこない、効果について説明がございました。スワイショウとは手をぶらぶら簡単体操で血流が大促進され多くの病気を撃退するとのこと。日常生活において下を向いた時に頭から先に上げることが脳梗塞にならない為重要であることを学びました。

第 3 回目「香項（しゃんごん）で心身ともにリラックス」をおこないました。誰でも簡単にできる気功体操である香項の説明があり、本格的な太極拳の動きを一通りおこないました。

第 4 回目は「二十四式で認知症の予防」をおこないました。二十四式の型の説明があり、一通り実技をおこないました。

最後に講師から太極拳は腹式呼吸が重要であり、内臓強化、リラックス効果、足腰強化を高めるものであり、普段の生活にも取り入れて、元気に健康に過ごしてほしい旨の説明がございました。

アンケートでは「引き続き同様の講座をおこなってほしい」「良い体験となりました」「体の原点を見つめなおし向き合うこの講座はとても良かった」等の感想をいただきました。

続きまして、市民講座「住むまちを知る」を萩山公民館で開催をいたしました。

平均年齢は 72.4 歳でした。男性 15 名 女性 15 名の参加となりました。

今回は萩山公民館での開催であることから 1・2 回目は「萩山周辺地域」を中心に、歴史、文化についての講義、3 回目は「東村山にまつわる伝説と民話の語り」を聴講いたしました。4 回目は「萩山町見て歩き」と題し八坂駅から萩山公民館までの歴史歩きをおこない、聴いて、実際に見る講座となりました。

受講者からのご意見としては、「東村山の歴史を知ることが出来良かった」「歴史を知るとは郷土を愛することである、具体的な話でさらに郷土を知ることが出来た」等大変好評でした。

この講座につきましては、今後も各地区館で開催し、他の地区についても学べるようシリーズ化し開催を継続していきたいと考えております。

続きまして、シニア学級「目指せ！幸齢者パート 7」を秋津公民館で開催をいたしました。平均年齢は 73.8 歳でした。男性 6 名、女性 18 名の参加となります。

元気で健康に暮らすために色々なことを学び体験する講座として、1・2 回目「悠久の漢字文化」漢字の歴史や成り立ち、面白さの発見、3 回目「大地震の備え」家具の転倒やガラスの飛散防止の準備を実際の映像を交えて説明、AED の実習、#7119 の活用について学びました。4・5 回目は「素敵な笑顔で魅力アップ」「脳と身体のストレッチ」と題し、第一印象とコミュニケーション、認知症の予防、脳や体のストレッチを学びました。消防署を含め 3 名の講師をお願いいたしました。

アンケートでは「日ごろ使っている字の奥深さに驚きました」「普段考えてもいなかったおもしろい講座でした」「消防署の説明も分かりやすく、地震に備えて準備をしたい、AED の体験が出来て良かった」「素敵な笑顔で学んだことを実践したら大好評でした」「自分の気が付かないことに気づかせていただいて大変良かった」等、大変好評でした。

続きまして、ホール公演事業になります。第24回東村山フレッシュコンサートを10月14日に中央公民館で開催いたしました。

演奏者は、8月5日におこなったオーディションに合格された学生5組、新人5組、計10組の方が出演され、今年度は、ピアノ独奏1組、クラリネット1組、サクソフォーン2組、マリンバ1組、声楽3組、チェンバロ1組、金管五重奏1組が出演いたしました。コンサート当日は258名の入場となりました。入場された方のご意見としましては、「とても素敵でした。すばらしいコンサートをありがとうございました。」「来年も楽しみにしています」「クラシックは良くわからないが、楽しく、堪能しました。来年も来たいです」等多くの感想をいただき、大変喜んでいただいたコンサートとなりました。

続きまして、笑顔あふれるまち東村山土曜寄席 in 秋津を10月27日に開催致しました。

知的障害者青年学級、かめのご学級は、10月21日にリアル野球盤班対抗戦を行いました。今回は各班長を監督に任命し、監督を中心に打合せをおこない、守備の交代、打撃判定器の変更も監督に託し、学級生で流れを作り上げ実施しました。学級生の積極性、自主性をかなり引き出すことができました。また、監督の指示を他の学級生も素直に聞く場面も多く、連携を上手に取ることができました。

今後の開催事業になります。

市民講座「筆ペンをきれいに使う」11月6日～27日（火）に廻田公民館で開催いたします。

定員を超えましたので10月24日に抽選をおこないました。

市民講座「世界のそこを知りたいパート2」を11月7日～11月21日全3回水曜日に中央公民館で開催をいたします。定員を超えましたので、10月31日に抽選をおこないました。

続きまして、ホール自主公演事業でございます。

カンジヤママイム～おしゃべりなパントマイム～を12月1日に開催いたします。

笑顔あふれるまち東村山土曜寄席を1月19日に中央公民館にて開催を予定しております。

平成31・32年度市民講座ボランティアを9月15日～10月16日の期間で募集をおこないました。平成29・30年度に活動されていた講座ボランティアの方で継続を希望される方10名、新規で応募された方2名、計12名の応募がございました。

市民ニーズに応えた事業を展開・実施することを目的として、平成31年度は、12名の講座ボランティアと職員で協働し、企画・講座開設等をおこなっていきたくと考えております。

最後になりますが、平成31年度市民講座テーマを10月2日～11月1日の期間で募集をおこないました。

市民からは、テーマ重複も含め15件、ボランティア・職員より25件、計40件の提案がございました。

今後の予定であります。集計後、講座ボランティア・職員で類似テーマ等を統合させていただきます。次回の公民館運営審議会で報告させていただきます。

開催事業及び講座報告は以上となります。

#### 【委員】

ステンドグラスに16歳以上という年齢制限を設けているのはなぜでしょうか。また、太極拳をサークルの方に講師を頼んだとのことですが、講師として働いた感想があればお聞きしたいです。最後に、住む町を知る講座で他県では、学校と連携している公民館もあるのですが、東村山市ではサークル化する方向があるかどうか教えてください。

#### 【事業係長】

ステンドグラスについてですが、コテと薬品を使うとのこと講師の方と相談し、限定させていただきました。

太極拳についてですが、サークルで活動されています指導員の方に講師をお願いいたしましたので、指導することには、慣れている方でした。お手伝いに入ったサークルの方の感想は聞いておりませんので、今後は指導された方の感想も聞いてみたいと思います。

住む町を知るについてですが、講師を市内の郷土研究会、昔話保存会の各会より1名ずつにお願いしたのですが、研究会はいつでも入りたい方はどうぞのご案内をしていただき、受講された方で興味を持たれた方は入られたと聞いております。

今のところ公民館でのサークルという話には至っておりません。

### 9. その他

#### (1) 次回日程

#### 【会長】

今回は、平成30年12月17日18:00より中央公民館、第3集会室にて開催いたします。

第20期第1回の公運審を終了とします。